

# CSR調達

## 調達基本方針

当社は購入品調達にあたって「相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築」「公正かつオープンな調達」「法規順守と機密保持」という3つの基本方針を制定しています。

### ● 購入品調達の基本方針 ●

#### ● 相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築

相互の努力と公正なお取引を通じて、ベストパートナーとしての長期的な信頼関係を構築し、お互いが発展することを目指しています。

#### ● 公正かつオープンな調達

当社は、国籍、規模、系列等を問わず、オープンな参入機会を提供し、品質、価格、納期、サービス、技術力、開発力を総合的に勘案してお取引先を選定しています。

#### ● 法規順守と機密保持

調達活動においては、関連する法規と社会規範を順守しています。また、お取引先を通じ知りえた機密情報は、ご承諾なしには第三者に開示いたしません。

## CSR調達ガイドライン

最近の社会動向として、企業不祥事、経済危機にともなう雇用・労働問題の顕在化や地球環境問題などを契機に、企業の社会的責任(CSR)に対する取り組みの強化が期待されています。その中で、取引先の皆様にも当社のCSR活動についてご理解いただき、相互信頼のもとに、当社だけでなくサプライチェーン全体でCSRを果たすよう努めていきたいと考えており、その活動の一端として「CSR調達ガイドライン」を制定しました。

### サプライヤーCSR調査

CSR調達ガイドラインの内容を網羅したアンケートを年に1回、各取引先に対して実施しています。

調査項目はコンプライアンス、リスクマネジメント、人権、労働、環境など多岐にわたります。



調査対象 1,064社

## グリーン調達

当社は、購入品調達の基本方針に基づき「グリーン調達ガイドライン」を設定し、環境に配慮した企業からの環境負荷の少ない製品の調達に努めています。取引先の皆様との連携によって、製品の設計・生産・廃棄に至るすべての段階を通して環境負荷物質の管理を推進するとともに、廃棄物を含めて環境負荷の削減を図っています。化学物質のサプライチェーン連絡および海外の法令対応がますます重要になってきたことから、2019年10月に内容を全面刷新しました。

## 紛争鉱物(コンフリクト・ミネラル)への対応

近年アフリカのコンゴ周辺地域の鉱物資源が不正に採掘され、人権侵害、環境破壊などを引き起こしている反政府武装勢力の資金源となっている可能性が懸念されています。2010年に米国で成立した、いわゆる金融規制改革法では、タンタル、すず、金、タングステンを紛争鉱物と定義し、米国の証券取引所に上場している企業に対して、製品への紛争鉱物の使用に関する情報開示を義務付けており、最終的には「紛争に資金的に加担する」紛争鉱物の使用を排除することを目的としています。

当社は、紛争鉱物由来の原材料、部品の調達において、CSRの視点より米国の金融規制改革法の趣旨に賛同し、お客様やサプライヤーと連携し、不正に採掘された紛争鉱物の不使用に向けた取り組みを進めていきます。

### Voice



#### これからも「ベストパートナー」で

大同特殊鋼株式会社  
常務執行役員  
自動車ビジネスユニット長  
山下 敏明さん

当社は、ニッパツへ自動車用懸架ばね(コイル、スタビライザ、トーションバーなど)に使用される、ばね用鋼材を供給しています。1958年(昭和33年)に、ニッパツと当社(当時の大同製鋼)より分離した大同発条との合併以降、長年にわたり親密な取引関係を継続しています。特殊鋼メーカーとして軽量化のための高強度化や低廉化などのニーズに対応した新規開発をはじめ、積極的な海外展開に対し、共同開発したばね用鋼材の輸出供給体制を構築するとともに、生産拠点における安定調達の面からもサポートしています。

ニッパツの強みは、自動車の電動化が急速に進展していく中でも、確実な需要がある懸架ばねやシート製品を事業の軸とし、業界のリーディングカンパニーとして他社に先駆けた海外展開でグローバルに生産・製品供給体制を構築されている点があげられます。さらには、継続的な新規開発や改善による既存製品の弛まぬ競争力向上や積極的な新規事業への取り組みなど、パイタリティーにあふれた力強い事業推進力にあると考えます。

長年培ってきた協力関係を深めつつ、ニーズに対応した新規鋼材の開発・提案や、安定的でグローバルな鋼材調達をしっかりとサポートすることで、これからもニッパツ製品のさらなる競争力強化につながる「ベストパートナー」でありたいと思います。